

# 長野県中野市のきのこ消費量調査

○坂知樹、前澤憲雄\*、土屋定久\*、佐々木真\*\*、小橋善行\*\*\*  
 (長野県農協地域開発機構、\*日本きのこマイスター協会、\*\*JA中野市、\*\*\*中野市)

## 目的

消費量調査には総務省が行う「家計調査」があるが、対象が県庁所在地と政令指定都市に限られるため、中野市のデータはない。そこで、えのきの生産量が日本一である当市において、産地と消費量の関係性を明らかにするため、きのこの消費量を調査する。なお、今後のきのこの消費拡大や食育に向けた取り組みの基礎資料とするため、小学4・5・6年生のいる世帯を調査対象とした。

## 方法

市内にある全11小学校を通じて、小学生・保護者にアンケート調査票を配布し、1カ月間に調達したきのこの品目、購入金額、消費重量などを記入してもらった。調査は平成26年8月、11月、27年1月の3回行い、回収率はそれぞれ、690人(回収率53.2%)、538人(同41.5%)、368人(同28.4%)であった。

## 結果①各月の消費量

表1 購入金額(円)(1世帯当たり)

	件数	生しいたけ	ぶなしめじ	エリンギ	なめこ	えのき茸	まいたけ	その他 生きのこ	干しいたけ	えのき氷	その他 加工品	合計
8月	690	46.1	83.2	66.4	38.7	165.9	28.4	23.1	4.8	10.0	28.1	494.7
11月	538	91.9	134.3	71.8	63.7	267.9	50.3	23.2	11.0	9.8	22.1	745.9
1月	368	95.4	137.8	78.7	66.5	311.5	45.2	28.5	9.7	11.7	29.9	814.9

表2 消費重量(g)(1世帯当たり)

	件数	生しいたけ	ぶなしめじ	エリンギ	なめこ	えのき茸	まいたけ	その他 生きのこ	干しいたけ	えのき氷	その他 加工品	合計
8月	690	65.9	196.7	174.9	56.1	501.1	33.3	36.5	3.3	2.6	12.1	1082.4
11月	538	126.3	243.3	138.3	123.7	741.9	59.6	88.2	4.3	30.1	25.7	1581.4
1月	368	110.5	278.1	150.0	104.8	876.0	56.0	47.5	9.4	18.7	32.6	1683.6

- ◆1月に購入金額・消費重量ともに最も多くなる。
- ◆品目別にみると、えのき茸>ぶなしめじ>エリンギ・生しいたけとなり、えのき茸の生産の盛んな中野市は消費量も多いことが分かった。
- ◆生きのここと比べて、加工品の消費量は少ない。

## 結果②年間消費量の比較

図1 年間購入金額(1世帯当たり)

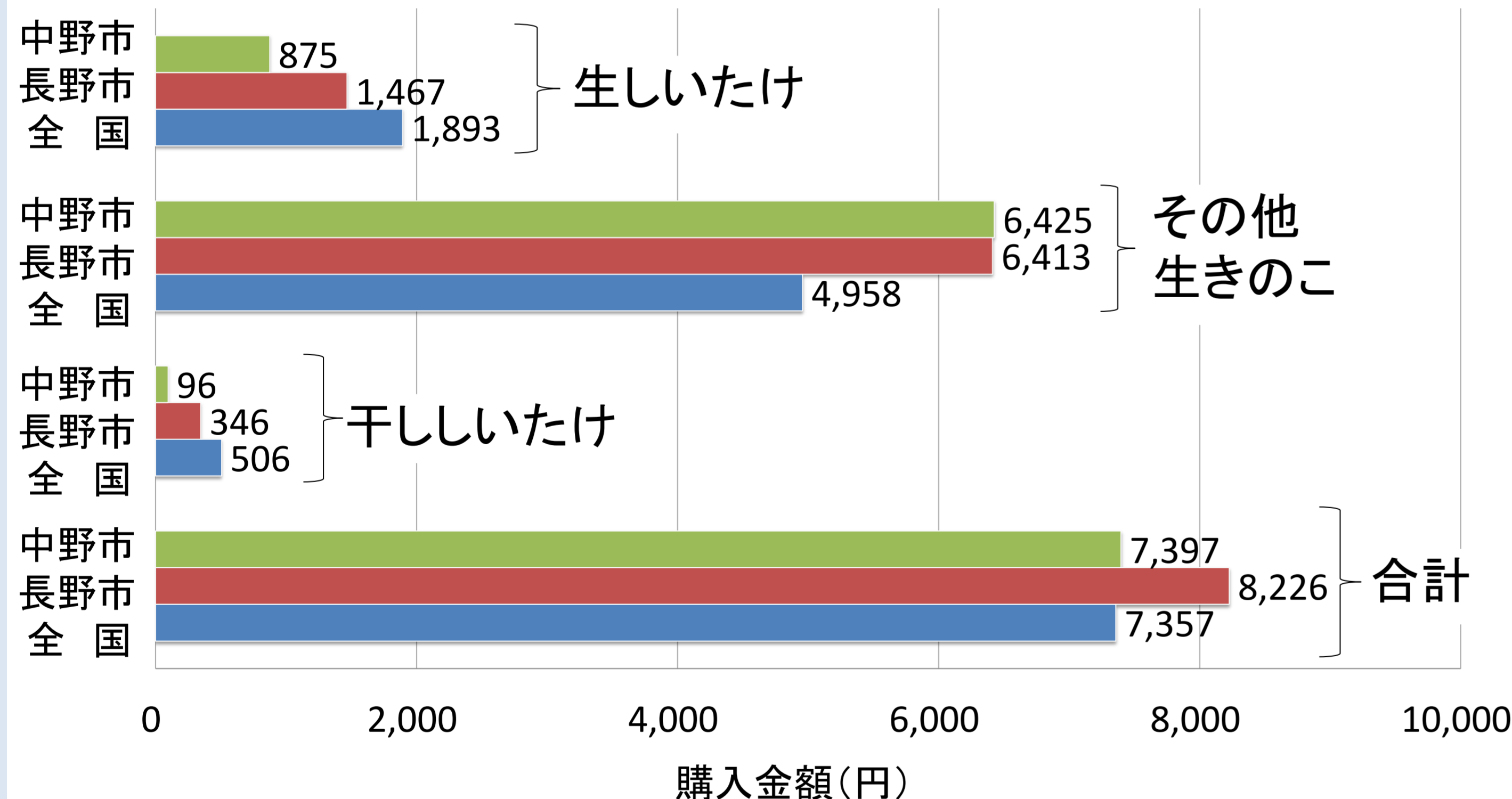
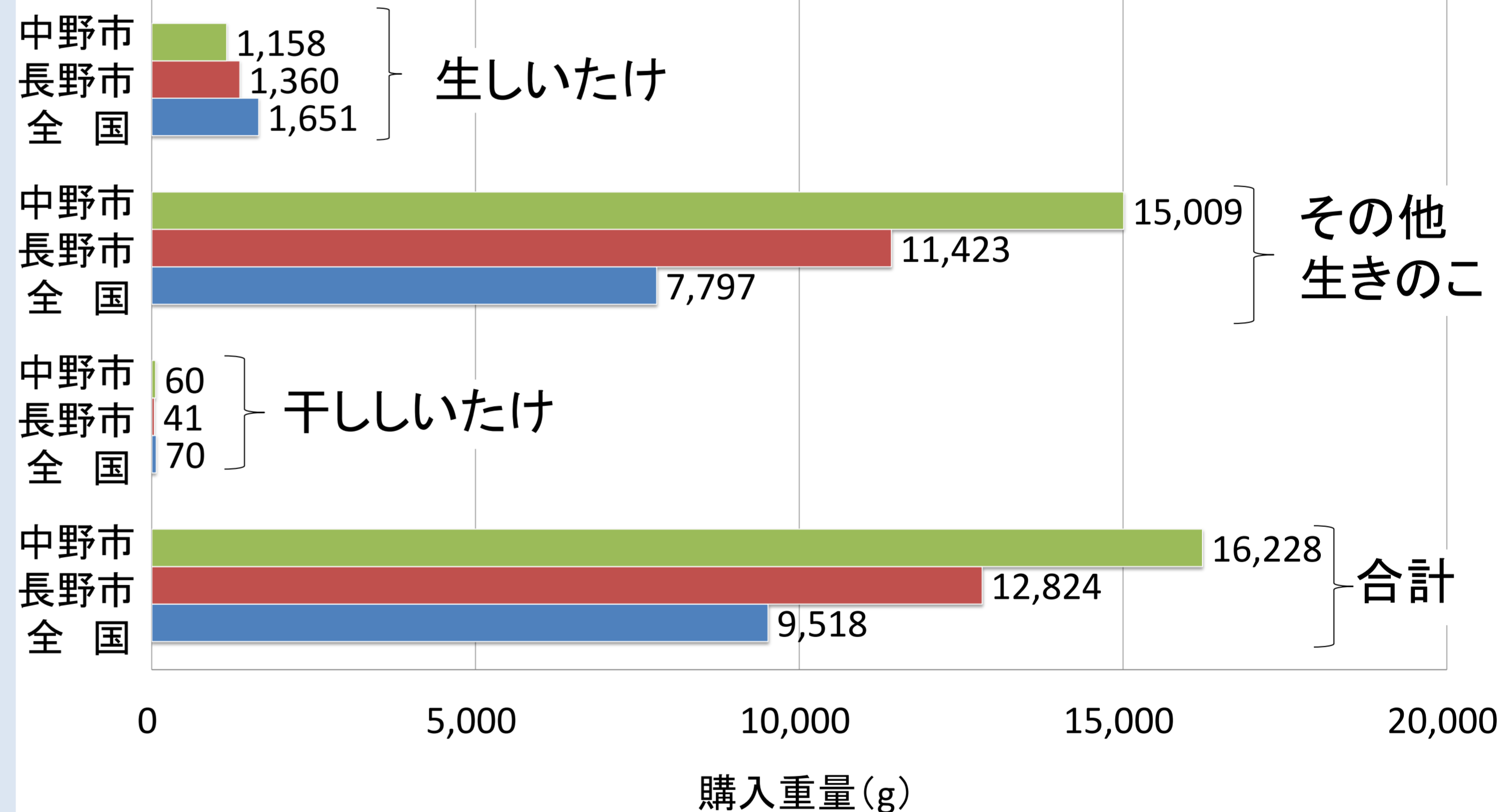


図2 年間消費重量(1世帯当たり)



※中野市の値は、8月、11月1月の数値より推計した。きのこの消費量は季節により大きく変動するが、8月(夏季)、11月(秋季)、1月(冬季)と各季節に数値を用いることで、1年間の消費量を推計が可能である。 ※長野市と全国の数値は、総務省『家計調査』『家計収支編二人以上の世帯』の平成23~25年の年報の平均。 ※その他生きのことは、えのき茸やぶなしめじなど、生しいたけ以外の生きのこを表す。

- ◆図1の購入金額をみると、中野市は7,397円で全国とほぼ同じで、長野市に比べると約1割低くなっている。しかし、図2の消費重量をみると、中野市は16,228gで、長野市と比べて1.3倍弱、全国よりも1.7倍多く消費していた。このように中野市はえのき茸を中心に、きのこの消費量が多いことが明らかとなった。
- ◆このように、消費量に対して購入金額が低いことは、調達方法に「もらい物」という回答が17.8%と比較的多いことが要因として考えられる。

## 結果③属性別にみた消費量

表3 小学生のきのこの好き嫌い  
消費量の関係(8月一人当たり)

好き嫌い	件数	購入金額(円)	消費重量(g)
好きのみ	351	128	266
好き+どちらでもない	37	85	178
どちらでもないのみ	126	85	199
嫌い+好きorどちらでもない	73	87	215
嫌いのみ	86	77	191

※8月の調査において、対象の小学生とその小学生の兄弟にきのこの好き嫌いを回答してもらった。

表4 農業とのかかわりや栽培品目と消費量の関係(8月一人当たり)

属性	件数	購入金額(円)	消費重量(g)
農業とのかかわり			
専業農家	23	79	195
兼業農家	81	111	262
家庭菜園	175	153	333
非農家	374	143	293
品栽培			
きのこ	21	83	160
きのこ以外	263	109	251

- ◆表3より、小学生とその兄弟が、きのこが好きと回答した世帯は、嫌いとは回答した世帯の約1.5倍消費していた。表出していないが、特にぶなしめじの消費量に差が出ていた。
- ◆表4をみると、専業農家できのこの消費量が最も少ない。とくに、きのこを栽培している世帯で消費量が少ないことが分かる。